

Let's come together! Vol. 20

0歳からのバリアフリーコンサート

2022年3月6日(日) 小金井 宮地楽器ホール 大ホール(3階)
開場10:20 開演10:45 1時間のプログラムです。

JR中央線
武蔵小金井駅
南口駅前

横浜で大人気の **Let's come together!**
「0歳からのバリアフリーコンサート」初登場!

ピアノとヴァイオリンとチェロ、
舞台の上でコンサートを聴いたこと、ある？
アーティストを囲んで
舞台の上でコンサートに
参加します。



ドミトリー・フェイギン (チェロ)
Dmitry Feygin (Vc)



松本 紘佳 (ヴァイオリン)
Matsumoto Hiroka (Vn)



赤松林太郎 (ピアノ)
Akamatsu Rintaro (Pf)

金崎瑞希 (ピアノ連弾)
Kanezaki Mizuki (Pf)

お子さんが
声を出しても
動いても
大丈夫。
プログラムと
演奏は本格的。
みんなで
一緒に音楽を
楽しんじゃおう!



サン＝サーンス
Camille Saint-Saëns

動物の謝肉祭 (連弾)

ナレーション 大久保麻佑子
Narration Okubo Mayuko

Le carnaval des animaux (Four handed performance)

サン＝サーンス
Camille Saint-Saëns

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番
Sonata for Violin and Piano in D minor, Op. 75

メンデルスゾーン
Felix Mendelssohn

ピアノ三重奏曲 第1番
Piano Trio No. 1 in D minor, Op. 49

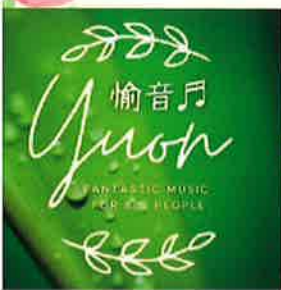
主催: 愉音 <https://www.yuon.net>

チケット: 親子1組 (小学生以下) 2,000円 追加家族1名 500円

販売: 愉音 ticket.info.222@gmail.com 090-6543-5456

小金井 宮地楽器ホール 2階事務室 042-380-8077

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 210714)



「音楽の友」第79巻第12号（2021年12月1日発行）より抜粋

Scramble Shot

0歳から生演奏を楽しめる公演シリーズ「Let's come together!」の第17回

<前略> 最大の特徴は、一流アーティストによる高度で本格的なクラシック音楽を子供にも大人にも分け隔てなく接してもらうこと。バリアフリーコンサートでは舞台の上で寝転がっても、声を出しても大丈夫というから驚きだ。これは本物の音楽を子供達にこそ味わってもらいたいという愉音のポリシーと、参加アーティストの協力によって可能となっている。<中略> 松本紘佳の心に響くヴァイオリン、赤松林太郎の超絶技巧のピアノ、タラス・デムチシンの情熱的なクラリネットが素晴らしかった。今後の予定など詳しくは愉音ホームページ<https://www.yuon.net/>に。（長谷川京介）

「音楽の友」第79巻第5号（2021年5月1日発行）より抜粋

フィリアホールでワークショップとコンサートシリーズ 一期一会のパフォーミングアーツを体感 取材・文：奥田佳道

<前略> 「パフォーミング・アーツの喜びを皆で分かち合いましょう。小さなお子さん、パパママたち、どうぞ舞台へ上がって演奏を近くで味わって。大人と小学生以上の皆さんには、夜のコンサートもありますよ。すてきなひとときをご一緒に」0歳からのバリアフリーコンサート、そしてソワレコンサートからなる愉音のプロジェクト「Let's come together!」の美しき美学だ。<中略> 3月22日のステージを彩ったのは、ピアニストの梯剛之とヴァイオリニストの松本紘佳。<中略> 二人が奏でたプログラムにご注目を。子ども向けにアレンジされた曲は一つもない。<中略> 従来の感覚で「これが子ども達に親しみやすいだろう」として「やさしく」創ったプログラムではない。トップアーティストの個性や技、選曲の背景をお話やナレーションを交えて提供し、一期一会のパフォーミング・アーツを体感していただく。これが愉音のスタイルである。梯が紡いだ夢や美への憧憬に満ちた音色、松本の妙技、二人のセッションも冴えたグリーグに親子から盛大な拍手が贈られる。アンコールのクライスラーに合わせて身体を動かす子供たち、お母さんたち。いい光景だ。<後略>

赤松 林太郎 Akamatsu Rintaro ピアノ

世界的音楽評論家ヨアヒム・カイザーにて「聡明かつ才能がある」と評され2000年のクララ・シューマン国際ピアノコンクール受賞。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得(室内楽は全審査員満点による)、国際コンクールでの受賞は10以上。国内はもとよりアジアやヨーロッパでの公演も多く、2016年よりハンガリーのダヌビア・タレント国際音楽コンクールでは審査委員長を務め、ヨーロッパ各国で国際コンクールやマスタークラスを行う。キングインターナショナルよりアルバムを次々リリースする一方、エッセイや教則本も多数出版。現職は、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員・山手支部支部長、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、カシオ計算機株式会社アンバサダー。<http://rintaro-akamatsu.com/>

松本 紘佳 Matsumoto Hiroka ヴァイオリン

第10回ヴィエニャフスキ・リピンスキ国際コンクール・ジュニア部門第2位、全日本学生音楽コンクール東京大会及び全国大会小学校の部第1位他受賞多数。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」他出演。ソリストとして、リスト室内管弦楽団、ハンガリー・ジェールフィル、ドイツ・イェナフィル、東京交響楽団他と共演。明治安田生命クオリティオブライフ文化財助成(2年)を受けウィーンに留学。文化庁新進芸術家海外研修員(3年)としてウィーン市音楽芸術大学及び同大学院を最優秀の成績で卒業。原田幸一郎、ザハール・ブロン、ジェラルド・ブーレ、ボリス・クシュニールに師事。現在演奏活動に加え、音楽が生物に与える影響に関心を持ち慶應義塾大学にて学ぶ。Instagram: @hirokamatumoto

ドミトリー・フェイギン Dmitry Feygin チェロ

モスクワ音楽院中央附属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンにチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事する。1991年モスクワ音楽院大ホールにてアレクサンドル・ヴェデルニコフ指揮によるチャイコフスキー作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビュー以降、国際的に活動を行っている。CARINTHISHERフェスティバル(奥)、カルマル・フェスティバル(仏)、オレグ・カガン・フェスティバル(露)、モスクワ11月芸術祭などに出演。2018年には、バッハ無伴奏チェロ組曲全曲CDをリリース、全曲演奏会を行った。2020年、20世紀無伴奏チェロ曲集コダーイ、レーガー、ヴァインベルクCDをリリース。現在、東京音楽大学教授。

金崎 瑞希 Kanazaki Mizuki ピアノ

福岡県立東筑高等学校を経て、現在東京音楽大学ピアノ演奏家コース1年に給費奨学生として在学中。高校卒業時に公益財団法人東筑奨学会より功労賞受賞。第73回全日本学生音楽コンクール高校の部北九州大会第1位。第74回同大会第2位。第45回ピティナ・ピアノコンペティションプレ特級全国大会入選。第27回フツパール鳥栖ピアノコンクールフツパール部門第3位。「東京音楽大学ピアノ演奏会～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～」や東京音楽大学表参道サロンコンサートVol.55、バーゼンドルファー東京主催ランチタイムコンサート等の演奏会に出演。これまでに鈴木浩美、池川礼子、赤松林太郎、永野栄子、石井克典、仲田みずほの各氏に師事。

愉音は、SDGsとSTEAM教育の理念のもとに、バリアフリーで触れる参加型の音楽体験を提供し、生涯に渡る心身の健康や、地域におけるつながりの厚みを増すきっかけを作ることを目的とする団体です。幅広い年齢層のメンバーが集い、様々な活動の企画運営を行っています。食べるもので身体ができていくように、音楽は心を育む大切な栄養の一つ、そして音楽は皆のもの。共に活動する仲間を募っています。



Instagram



Facebook



Twitter



Let's come together! 次回公演は、4月18日(月) やまと芸術文化ホール メインホール、演奏者は、梯 剛之、松本紘佳、ドミトリー・フェイギン。お楽しみに！ <https://www.yuon.net>